

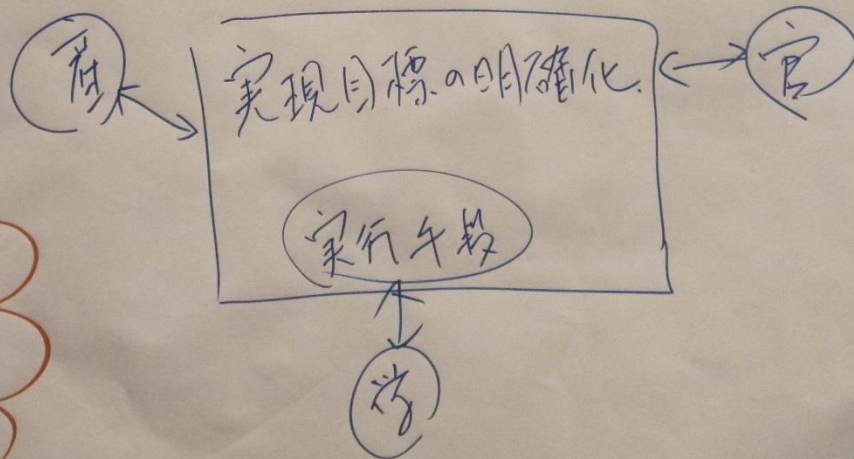
○産学官における課題の見える化・共有化

(A)

共通

各者の課題の洗い出し
(各者それぞれで出来る)

今以上に
交流の場
が必要!!



課題

例えば
・プログラミング教育を2020年から

(B)

開始、だがやり方は
小学校任せ. という事象
→ 何をどうしたいか「課題」や
「目標」がふわっとして不明確
→ 実証 / 補助金でやってその
後金でつかず

産

・ソリューション

・汗と血を出す
知恵

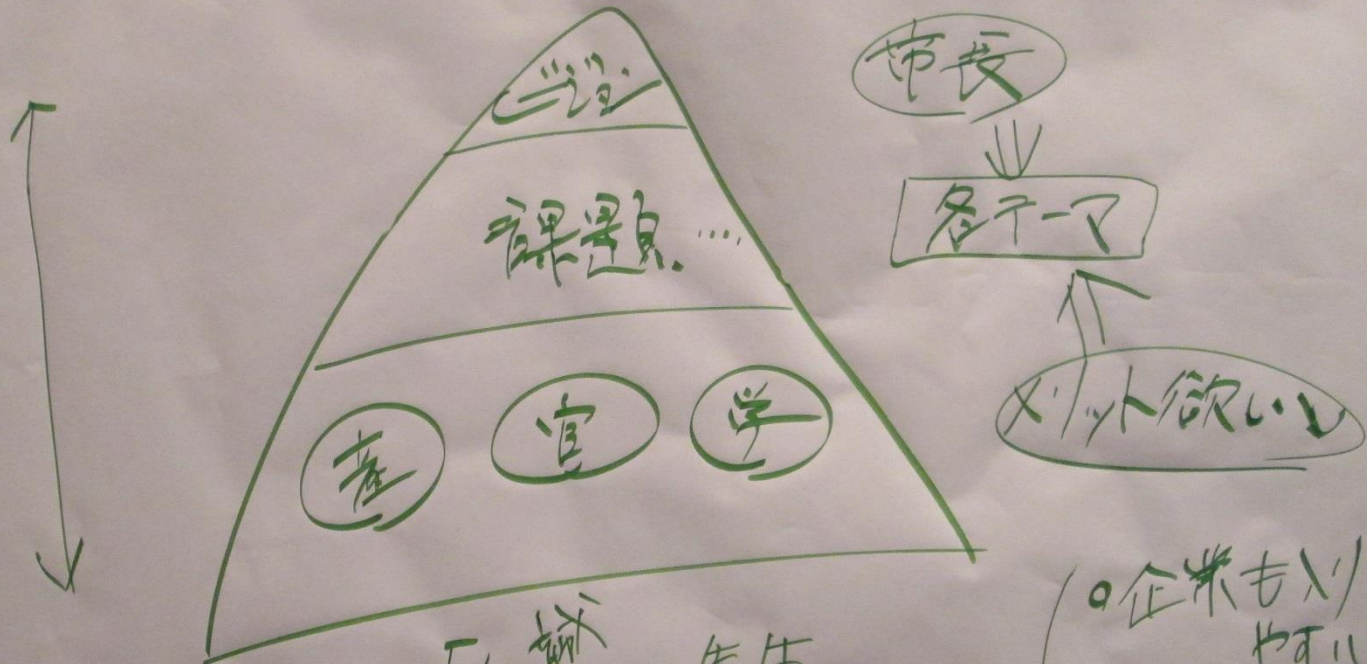
官

・予算化する(スタートアップ時もその後)

学

・情報や特許、施設、知見の提供
・コーディネーター的機能の提供

○のビジョン・課題をいかに共有するの!?

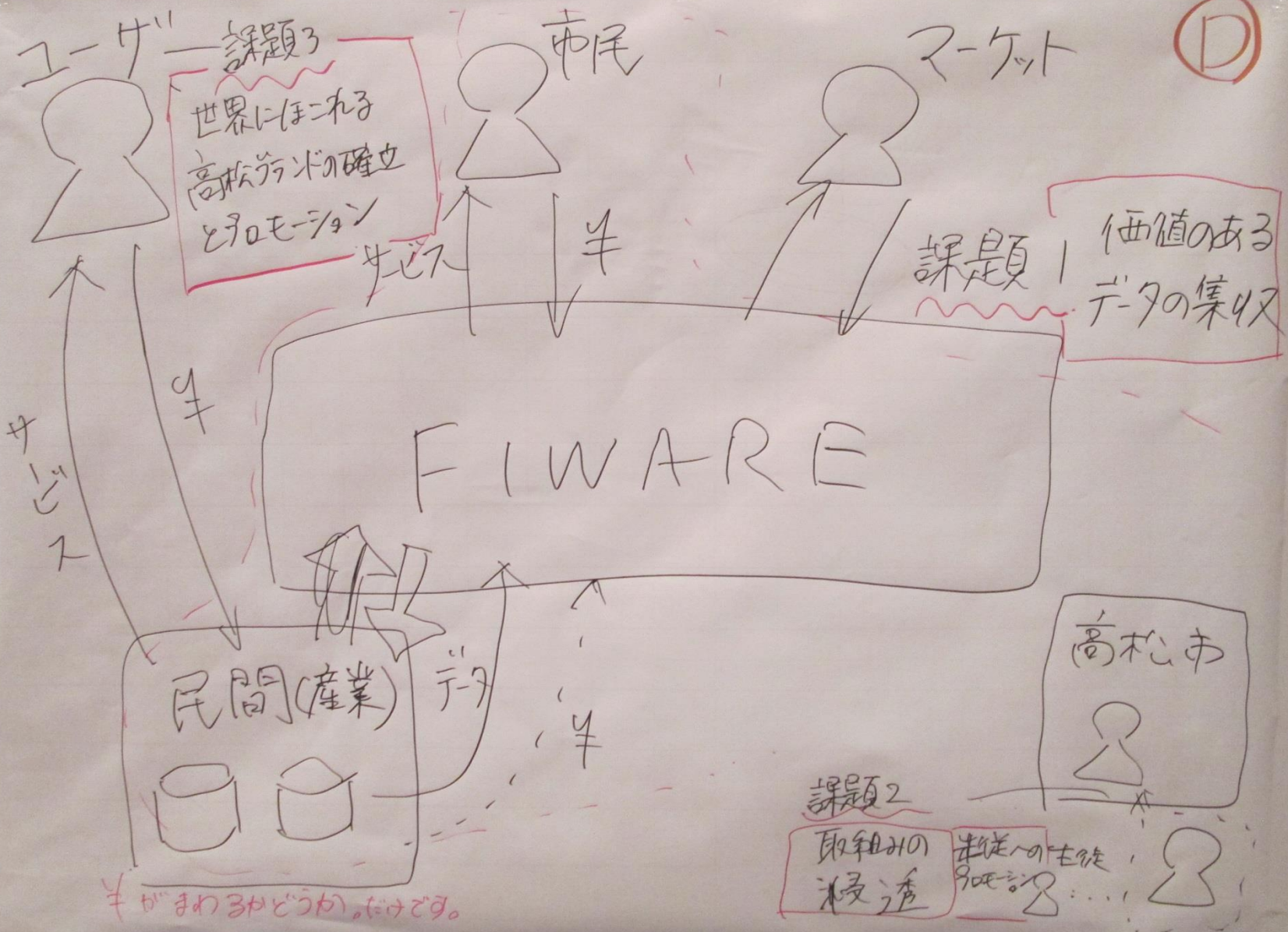


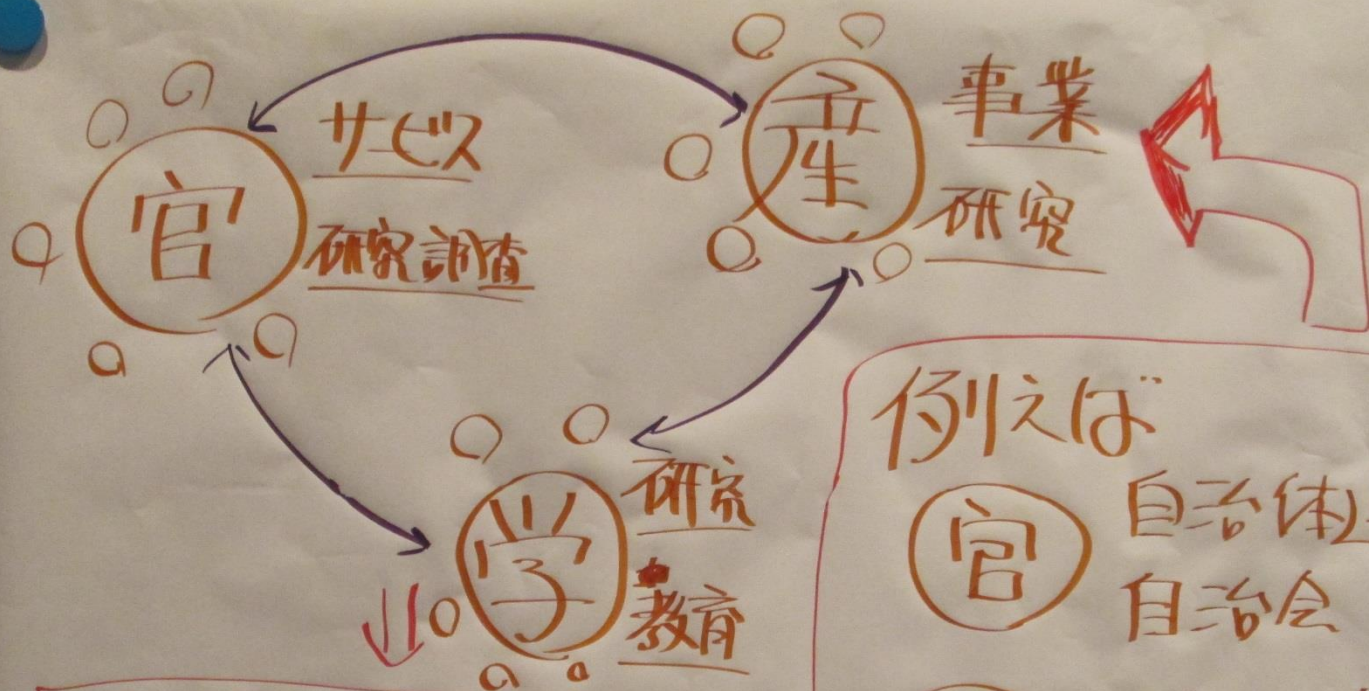
・「人」→ 先生

・「市民」→ 本学のデザイン
の事

・企業もX/やり!!

・活性化しろ!





課題: 連携

・ポスター

・深之
・横?

例えば

官 自治体連合
自治会

学 大学間連携???
高校・中学・小学校

産 企業間連携(交合)
スポンサーへの負担

(F)



平井大臣

格差を
生み出し
ICT

市民

地元
企業

巻きこめて
いない

学生

行政
職員

保者
全員
地域

義務教育



データ
プラットフォーム

- ワークショップ
- 出前講座
- カリキュラム案
- ICT整備

④

課題：産学官でバラバラ

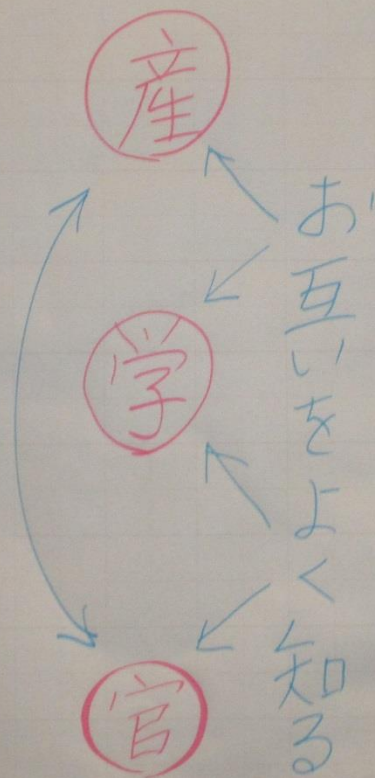
→ この中でも、世代によりバラバラ

解決策

共通の問題を
出す



1つでも
成功例が必要



課題

- ① どのデータと
どのデータと
組み合わせれば
良いか?
- ② 目的が明確
だと連携も
難しい
- ③ 連携する為の
ノウハウを誰れ
が持っているか
分らない

解決策

スマートシティは前例がない

考えるしかない
考える為には一人(企業団体)
では分らない

↓
産学官民が各々持っている
データ(法律等も含む)を出す

- データはあるのかわからないのか
- データはつくれるのか
- データはみつけられるのか

↓
分らないから
分る為の「場」を先ずつくる

課題：官民のデータ共有のミスマッチ

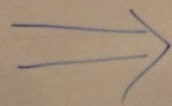
解決策：官

出せるデータのリスト化

学

若い学生

の傾かない意見



公開

・IoTの整備

・アイデアの共有

提案

民

・リストからビジネスモデル化

I

民間

①

土木分野
↓
道路建設

創業支援

他の使い方
はない?

GPSロガー

何を売す
ビジネス
か?

交通事故
↓
場所が
問題

大学

方折

弊の意見が
必要!

学生へ発信
↓
行動力

⑤ インターネット
単位

スマートシティ
社会課題
解決

社会課題
の共有

産学官
連携の
モデル

会場
予約
→公開

街の暮らし
ビジネス

行政

スマートシティ
の知名度
(1/2028~)

④ スマートシティ
↓
何をしよう
か? 知るか?

課題を
投げ出し
検討

④ 端
をつくる

行政BD
の提供

④ オープンデータ
をどう
活用するか?

④ データ
がほしい!

課題

駐車場
混雑緩和

住民理解

住民への周知と参加
『スマートシティって何?』
促進

翻訳

産官
全労
やと

④ 言葉の
やりとり
を

火口
数
化

ネットワーキング

カタカナ、
横文字